

# 平成 30 年度（2018 年度） 事業報告書

学校法人 智晴学園  
琉球リハビリテーション学院

## 1. 法人の概要

### (1) 理念

人が生きるのに必要な 8 つの力を引き出す実学の教育。

3 つの運動機能： 命を支える力

動きを支える力

周囲を感知する力

5 つの精神機能： 生きようとする力

考える力

自分らしさを保つ力

わかる力

人と関わる力

### (2) 学院の目標

#### ① 学生一人ひとりが目標をあきらめない専門学校

- ・ 卒業して国家資格を得た、一人のセラピストが生涯にわたって関わらせていただく対象者（患者、家族、関係者）の数は 2000 人を超える。この多数の方々の命、人生を背負う職業人となる自覚を入学直後から強く深く求める。
- ・ 入試合格直後から、入学前まで、「入学前講座」「入学前体験」を実施し、私的に感じている漠然とした「リハビリテーション」の概念を、より認識を高め、入学した自らに納得がいく場を多様に設ける。
- ・ 授業はもとより、学生や教員との対人接触、学内キャンパス生活、球技大会、学園祭等のイベント体験など、あらゆる場面が、直接、医療・福祉人としての資質形成に直結することを説き、たとえ、ささやかで不確かな入学動機であっても徐々に大きな目標認識へと育てていく。

#### ② 一人ひとりの学生を丁寧な育てる専門学校

- ・ 入学直後から学習が始まる専門科目の授業で医療職であることに動揺をきたす学生が多い。自身の能力と志望動機が揺らぎ、疑問と不安が生まれ、目標を見失い混乱する学生に学科職員が全力対応する、クラスメイ

ト、教員とのコミュニケーションを深め、自身の出来そうなこと、できていることに気付く場を設け、自らを自分自身でコントロールできる職人気質を育む第一歩と位置付ける。

- ・ 知りえた知識を技能に裏打ちしていく過程は、ひたすら反復するしかない。その繰り返しをそばで見つめ、励まし、国家試験のレベルまでに個々を高めていくことを全教員が強く深く自覚し指導する。
- ・ 教員と学生の日常会話の距離を近くすることにより、遭遇する学習の壁の高さ、実習のかかわりの深さへの動揺を敏感かつ早急に気づくよう、教員室は常に学生に向け開いている。

### ③ 実学を軸とした職人を育てる専門学校

- ・ 病院や福祉現場等で、病気、障害、痛みなどを持たれ、苦しんでおられる当事者の方々に直接接する実習体験が必須である。この実習の場で、人間としての痛みやぬくもりを意識し、知識の重要性を知ることにより、自分自身を鍛え磨くことを自覚できるようになる。職人見習いとして、職人である現場指導者から直接指導を受ける実学に重きをおいた教育機関である。
- ・ 自分自身の弱さに気づき、「うごきを支える力」「いのちを支える力」「まわりを感知する力」「生きようとする力」「自分らしさを保つ力」「わかる力（認知）」「考える力（理解）」「人とかかわる力」を、学内生活や実習体験を通して、自己成長、自分力向上を育む。
- ・ 国家試験合格という入学時点のゴールは、生涯一職人として社会に役立つ存在となるスタート地点でもある。Heartful、Powerful、Smartfulを個々の学生に求めつづける。

### (3) 沿革

学校法人 智晴学園 琉球リハビリテーション学院の歴史を振り返ると戦後沖縄の医療の変遷と不思議な縁が見えてくる。

金武町工業学校跡地に結核療養施設 250 床のサナトリウムがアメリカ治政下において建設されたのは 1948 年 6 月。その後 1951 年、軍当局による沖縄県内結核罹患調査が実施され、療養プログラムとリハビリテーションが本格的に行われることとなる。その中心的な役割を担ったのは金武町に建設された結核療養所であり、現琉球リハビリテーション学院が立地する金武町浜田原の地であった。およそ半世紀を経て新たな使命を持ったリハビリテーション従事者を養成する学校法人として本学院は 2002 年、産声をあげることとなる。



沖縄県公文書館



沖縄県公文書館



沖縄県公文書館



沖縄県公文書館

アメリカ統治下の結核療養施設「金武保養院」の様子（写真提供：沖縄県公文書館）

本校は 2002 年 4 月、作業療法学科、理学療法学科昼間主各定員 40 名で開学した。当時沖縄県内においては医療法人おもと会が設立した沖縄リハビリテーション福祉学院がすでにリハビリテーション専門職種養成施設として人材育成を行っていたが、病院等医療施設のみならず地域リハビリテーションの推進とあいまって、作業療法士、理学療法士の人材不足は離島を多く抱える沖縄県内において目に見えてあきらかな状況であった。

このような背景のもと、臨床勤務の 3 名の作業療法士、理学療法士は新しい理念のもと、金武町出身の作業療法士を中心にリハビリテーション専門職人材養成のための新たな養成施設開設へと歩を進め、この挑戦的試みは全国初となる作業療法士・理学療法士による養成校設立として結実することとなる。

当時の設立趣意書には次のような文面が記されている。

「私どもが生まれ育った沖縄県には、恵まれた自然





をもとに、太陽が輝く明るいイメージの健康および福祉を中心とした事業の推進がふさわしい」こと、そして、「福祉型リハビリテーション・サービスの提供は極めて不十分な状況にある」こと、さらに、「単に教育機関としてだけでなく、地域の人々にも開放、参加できる学校づくりを目指したい」こと、そして最後に「優れた臨床家の育成に全力をつくしたい」と結んでいる。

これらの1つ1つは、多くの紆余曲折を経てなお、本学校法人の大きな理念として15年を経た現在にまで脈々と受け継がれ、「リゾートリハビリテーションや海洋療法リハビリテーション、乗馬療法の確立」、「就労支援事業や児童発達支援事業の推進」、さらには「クリニック開設」などとして開花し、本校の大きな柱である「実学の学び舎」は作業療法学科、理学療法学科開設のみならず、メディカルスポーツ柔道整復学科、社会福祉学科、また、2016年4月には海洋リハビリテーション学科を加えた5学科に成長、「思いを形に変える」実践教育と、下支えを惜しまない学生教育の実現を目標に一步一步、歩みを進めている。



#### 学校法人智晴学園 専門学校琉球リハビリテーション学院の変遷

年月日	内容	備考
2002/4/1	学校法人智晴学園 設立 専門学校琉球リハビリテーション学院 開学 理学療法学科・作業療法学科（昼間部 4年課程 定員40名）開設	

2004/4/1	理学療法学科・作業療法学科（夜間部 4 年課程 定員 40 名）開設 言語聴覚学科（昼間部 4 年課程 定員 20 名）開設 介護福祉学科（昼間部 2 年課程 定員 40 名）開設	
2005/4/1	柔道整復学科（昼間部 3 年課程 定員 60 名）開設	
2006/4/1	社会福祉学科（夜間部 1 年課程 定員 40 名）開設	
2009/3/31	介護福祉学科 閉科	学科再編による
2010/4/1	理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科 （昼間部）4 年課程から 3 年課程へ変更	理学療法学科・作業療法 学科カリキュラム改定
2010/4/1	柔道整復学科 定員 60 名から 30 名へ変更	
2011/4/1		理学療法学科・作業療法 学科カリキュラム改定
2013/3/31	言語聴覚学科 閉科	学科再編による
2013/4/1	理学療法学科・作業療法学科（夜間部）4 年課程 から 3 年課程へ変更	理学療法学科・作業療法 学科カリキュラム改定
2014/4/1	理学療法学科 定員 40 名から 60 名へ変更	
2015/4/1	柔道整復学科を「メディカルスポーツ柔道整復 学科」に科名変更	
2016/4/1	海洋リハビリテーション学科(1 年課程定員 30 名) 開設 理学療法学科・作業療法学科 昼間部・夜間部を 昼間主・夜間主へ変更	理学療法学科・作業療法 学科・メディカルスポー ツ柔道整復学科カリキュ ラム改定

#### (4) 設置する学科・入学定員・総定員

課程名	学科名		修業 年限	入学定員 (人)	総定員 (人)	学級数
医療専門課程	理学療法学科	昼間主	3 年	60	180	6
		夜間主	3 年	40	120	3
	作業療法学科	昼間主	3 年	40	120	3
		夜間主	3 年	40	120	3
	メディカルスポーツ 柔道整復学科	昼間主	3 年	30	90	3
教育・社会福祉 専門課程	社会福祉学科	夜間主	1 年	40	40	1
	海洋リハビリテー ション学科	昼間主	1 年	30	30	1

(5) 学生数の状況

2018. 4. 18 現在

学科名		1年			2年			3年			計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
理学療法学科	昼間主	41	12	53	48	14	62	45	11	56	171
	夜間主	11	5	16	17	8	25	27	5	32	73
作業療法学科	昼間主	14	13	27	10	18	28	9	25	34	89
	夜間主	13	10	23	11	12	23	11	13	24	70
メディカルスポーツ柔道整復学科	昼間主	8	6	14	11	5	16	16	2	18	48
社会福祉学科	夜間主	12	23	35							35
海洋リハビリテーション学科	昼間主	9	3	12							12
総計											498

(6) 役員の概要

2019. 3 現在

役職名	氏名	備考
理事長	儀間 智	(兼 学校法人評議員)
副理事長	田中 真純	株式会社らそうむ 代表取締役 (兼 学校法人評議員)
理 事	玉城 義一	学院長
理 事	原 浩之	株式会社白寿生科学研究所 (兼 学校法人評議員)
理 事	田村 浩介	いきがいのまちデイサービス (兼 学校法人評議員)
理 事	儀間 市子	(兼 学校法人評議員)
理 事	大本 研二	学校法人こおりやま東都学園 代表理事
監 事	翁長 秀樹	有限会社翁長電気工事 代表取締役
監 事	山川 宗仁	金武こどもみらい園 園長

## (7) 評議員の概要

2019.3 現在

役職名	氏名	備考
評議員	儀間 智	(兼 学校法人理事長)
評議員	田中 真純	株式会社らそうむ 代表取締役 (兼 学校法人理事)
評議員	原 浩之	株式会社白寿生科学研究所 (兼 学校法人理事)
評議員	田村 浩介	いきがいのまちデイサービス (兼 学校法人評議員)
評議員	儀間 市子	(兼 学校法人理事)
評議員	儀間 修	
評議員	島 賢	江洲整形外科クリニック
評議員	大城 正人	沖縄銀行 金武支店長
評議員	仲松 克	株式会社良創夢
評議員	小島 正義	学校法人智晴学園 統括部長
評議員	竹藤 登	学校法人智晴学園 社会福祉学科
評議員	福田 聡史	学校法人智晴学園 理学療法学科
評議員	川畑 真紀	学校法人智晴学園 理学療法学科
評議員	大城 圭	学校法人智晴学園 作業療法学科
評議員	山下 康博	学校法人智晴学園 事務部長

## (8) 教職員の概要

2018.5 現在

	教員数		職員数
	本務者	兼務者	
男	22	22	5
女	11	9	11
計	33	31	16

## 2. 事業の概要

### (1) 事業の概要

#### ① 理学療法学科（昼間主・夜間主）

人体の仕組みを理解することから始まり、ケガや病気に対する治療方法など、幅広い学びを展開。リハビリテーションの専門家である理学療法士に必要な知識と技術を体系的に学んでいく。国家資格を取得するだけでなく、豊かな教養やチームで働くために必要な人間性、生涯を通じて学び続けるための姿勢を備えた理学療法士を養成する。

#### 3つの特色

1. 早期からの学外実習で理学療法の実践スキルを磨く
2. 1学年から国試対策を取り入れ、国家試験への気持ちを高めていく
3. 学習の仕方から生活リズムの調整まで、学習支援サポートを充実

そのために

- ・入学者全員卒業を目指した教育体制の充実
- ・学生支援を強化するため、教員間における学生の学習状況や生活情報の共有の徹底と早期の学生相談の実施
- ・学生が円滑に実習に取り組めるための実習担当者による実習前後の確認試験の実施
- ・国家試験対策の充実

理学療法士の役割とは、病気やケガ、障がいのある人がより良い生活ができるよう、リハビリテーションを通じてサポートすることである。リハビリテーションの仕事というと「機能の回復」をめざすものと想像しがちだが、実際の臨床の現場では、患者の精神的なケア、病気やケガを予防するための教育など、さまざまな役割を果たすことが期待されている。本学科では、患者に適切なリハビリテーションを行うための知識と技術だけでなく、学修や研究を続けるための姿勢、他の専門職と連携しながら仕事をするためのコミュニケーション能力、さらに「人を思いやる気持ち」を持った理学療法士養成をめざす。

#### ② 作業療法学科（昼間主・夜間主）

作業療法学科では、作業療法士として人を尊重することができ、作業療法を実施する上でのそうぞう力を養い、必要な基本的知識や技能を身につけることを学科の教育目標としている。また、各学年の教育目標を設置し学科運営を行っている。



## 作業療法学科教育目標

時期	分類	認知機能	情意領域	精神運動領域
1年次	GIO	・作業療法士に必要な基礎知識・対人技能・姿勢を身につける。		
	SBO s	・心身機能・身体構造について説明出来る ・作業療法の流れ及び役割りを説明出来る	・積極的に学ぶ姿勢を保つ ・他者と協調する努力ができる ・規律を守る（報告連絡相談）	・作業療法評価を指導の下で実施出来る
2年次	GIO	・作業療法士として必要な専門知識，評価技能を身につけるとともに，探究心を養う。		
	SBO s	・疾患と障害について説明できる ・作業療法プログラムが立案できる ・臨床に必要な報告連絡相談の重要性を説明出来る	・課題に気づき，問題解決に取り組む事ができる ・他者と協調することができる	・作業療法評価を指導の下で対象者に実施出来る ・信頼関係を築くための対人技能を身につける ・疑問を持ち，それを調べる事ができる
3年次	GIO	・作業療法士に必要な応用的実践力を獲得し，自己研鑽する力を身につける。		
	SBO s	・基礎知識及び専門知識が具体的に想起、解釈、問題解決できる	・思いやりと責任感を持ち，対象者と協同できる ・自己洞察（内観）に関する反応を示す	・作業療法を指導の下対象者に実施出来る ・作業を治療に活用できる（そうぞう力がある） ・臨床で必要な報告連絡作黄疽ができる（自動化）

以上を教育目標とし、そのために以下を実践している。

- ・入学者全員卒業を目指し、学生支援、学習支援、経済状況の把握と生活面の把握を徹底し、定期的な面談を実施し、教員間における情報共有を密に行っている。
- ・早期より国家試験対策を実施し、3年時にはチュートリアル制度（グループ学習）を取り入れ、担当チューター（教員）の定期的な面談及び個別フォローを実施している。
- ・卒業生や当事者の方の協力を得て、より臨床（実践）に近い形で設定された実習前後の確認試験（OSCE）を実施している。

また、社会貢献の一環として、小・中学校への教員派遣、病院・施設の医療従事者に対する職員研修、高校への出前講座を実施。

在学生へもボランティア参加を促している。

### ③ メディカルスポーツ柔道整復学科

メディカルスポーツ柔道整復学科では、各学年の教育目標を設置し学科運営を行っている。

1年生では「環境に適応できる常識的な社会人、医療人の育成」

2年生では「臨床実習能力の高い柔道整復師の育成」

3年生では「国家試験全員合格」

これらの教育目標を学生と教員が共有し、人間力と臨床能力の高い柔道整復師を育て上げている。

また、当学科では学院の理念である「実学」を実践し、学外において様々な救護活動やボランティア活動に積極的に参加し、学生に現場での学習を多数体験させている。また、臨床実習についても学内施設だけではなく、クリニックでの実習を実施し、各医療職とのチーム医療を体感している。

2018年度の実績

- ・バレーボールフランス代表・パナソニック親善試合
- ・女子サッカー沖縄大会
- ・那覇マラソン
- ・ツールド沖縄
- ・ラグビー女子九州大会
- ・ちゅうらうみセンチュリーラン
- ・楽天春季キャンプ
- ・ラグビー7人制ニュージーランド・日本代表キャンプ 等

### ④ 社会福祉学科

社会福祉学科は夜間の1年コースで、社会福祉士国家試験受験資格取得を目指した社会人を対象にした学科である。

社会福祉士国家試験合格を目指すのはもちろんのこと、卒業後すぐに相談援助業務につき、実践できるように、相談援助演習等で基本的なコミュニケーション技術、対人援助技術、利用者の権利擁護実践等を習得し、当学院の理念でもある「実学」を実践し、社会福祉士として人間力の向上に努めている。

また社会福祉士は連携業務及びネットワーク形成が重要な職務なので、ネットワーク形成技術の習得のためのグループワーク、相談援助実習やその他専門職団体との交流を通してネットワークの形成を手助けしている。

2018年度の実績

- ・国家資格現役合格者数 35名中25名(71.4%) 全国平均(29.8%)
- ・卒業生不合格者に対する国試対策講座(フォローアップ) 毎月2回実施

- ・ 社会福祉士研究大会 九州地区沖縄大会 参加
- ・ 沖縄ソーシャルワーカー学会 参加

#### ⑤ 海洋リハビリテーション学科

海洋リハビリテーション学科は、昼間 1 年コースの学科で、将来新しいジャンルとなりうる海洋リハビリテーションの入口となる学科である。

1 年間でメインフィールドとなる海に関する事柄を座学と実践的な実習で学び、作業療法・理学療法・柔道整復など他学科の教員による講義を加え、「海」のみではない「医療人」としての人材育成を行っている。

また、当学院の理念である「実学」をモットーに、学院外においても様々なボランティア活動を積極的に行っている。

#### 2018 年度の実績

- ・ ちゅら海 SUP・RUN
- ・ 金武漁港組合ハーリー大会
- ・ 金武漁港クリーン活動
- ・ バリアフリーダイビング
- ・ ぎんばる CUP2018
- ・ ぎんばるの海バリアフリーマリン体験

## (2) 施設等の状況

2018.5 現在

所在地	施設等	面積 (㎡)		
		設置者所有	借用	計
沖縄県国頭郡 金武町字金武 4348-2	校地	1,573	10,561	12,134
	校舎	5,810	1,550	7,360
	寄宿舍	6,471		6,471

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ① 貸借対照表の状況

平成 30 (2018) 年度決算における貸借対照表は下表のとおり。

貸借対照表は、決算日における資産および負債、純資産の内容を明示し、学校法人の財政状況を明らかにするものである。貸借対照表における資産総額は、19 億 19 百万円で、前年度に比べ 0.9%減少している。一方、負債の総額は 11 億 00 百万円で、前年度に比べ 10.7%減少した。また、基本金と収支差額を合わせた純資産の額は 8 億 18 百万円で、前年度に比べ 16.3%増加した。

#### 貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日

法人名：学校法人 智晴学園

区分名：法人全体

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	1,708,439,140	1,775,361,365	△ 66,922,225
有形固定資産	1,681,812,820	1,748,746,505	△ 66,933,685
土地	39,000,000	39,000,000	0
建物	1,566,559,044	1,622,907,294	△ 56,348,250
構築物	3,694,577	5,171,200	△ 1,476,623
教育研究用機器備品	2,647,281	3,282,977	△ 635,696
管理用機器備品	4,318,463	6,116,570	△ 1,798,107
図書	30,269,122	30,269,122	0
車両	15,552,273	14,825,726	726,547
船舶	19,772,060	27,173,616	△ 7,401,556
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	26,626,320	26,614,860	11,460
電話加入権	226,800	226,800	0
有価証券	19,000,000	19,000,000	0
預託金	47,520	36,060	11,460
保証金	7,352,000	7,352,000	0
流動資産	210,957,643	161,828,054	49,129,589
現金預金	5,186,827	17,603,148	△ 12,416,321
未収入金	96,077,558	63,166,690	32,910,868

短期貸付金	22,099,901	0	22,099,901
前払金	435,604	1,917,818	△ 1,482,214
仮払金	64,981,356	62,669,088	2,312,268
立替金	22,176,397	16,471,310	5,705,087
資産の部合計	1,919,396,783	1,937,189,419	△ 17,792,636

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	735,687,244	704,482,644	31,204,600
長期借入金	709,182,000	668,250,000	40,932,000
長期割賦未払金	26,505,244	29,613,424	△ 3,108,180
預り保証金	0	6,619,220	△ 6,619,220
流動負債	365,209,858	528,999,322	△ 163,789,464
短期借入金	70,000,000	193,728,000	△ 123,728,000
未払金	56,244,242	30,107,331	26,136,911
未払消費税等	995,200	942,600	52,600
前受金	170,567,900	210,037,000	△ 39,469,100
預り金	39,723,789	53,960,608	△ 14,236,819
仮受金	27,678,727	40,223,783	△ 12,545,056
負債の部合計	1,100,897,102	1,233,481,966	△ 132,584,864

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	2,717,223,288	2,666,269,792	50,953,496
第1号基本金	2,717,223,288	2,666,269,792	50,953,496
繰越収支差額	△ 1,898,723,607	△ 1,962,562,339	63,838,732
翌年度繰越収支差額	△ 1,898,723,607	△ 1,962,562,339	63,838,732
純資産の部合計	818,499,681	703,707,453	114,792,228
負債及び純資産の部合計	1,919,396,783	1,937,189,419	△ 17,792,636

② 事業活動収支計算書の状況

平成 30（2018）年度の事業活動収支計算書は下表のとおり。

事業活動収支計算書は、当該年度の活動に対応する事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにし、基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにするためのものである。

事業活動収支計算書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

法人名：学校法人 智晴学園

区分名：法人全体

(単位 円)

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	620,000,000	613,673,265	6,326,735
		授業料	450,000,000	439,564,265	10,435,735
		入学金	38,000,000	37,350,000	650,000
		実験実習料	60,000,000	66,370,000	△ 6,370,000
		施設設備資金	70,000,000	68,289,000	1,711,000
		教材費	2,000,000	2,100,000	△ 100,000
		手数料	6,000,000	5,886,000	114,000
		入学検定料	3,000,000	2,975,000	25,000
		試験料	2,500,000	2,250,000	250,000
		証明手数料	500,000	661,000	△ 161,000
		寄付金	0	0	0
		経常費等補助金	0	0	0
		付随事業収入	110,000,000	117,463,841	△ 7,463,841
		補助活動収入	50,000,000	50,872,428	△ 872,428
		附属事業収入	60,000,000	66,591,413	△ 6,591,413
		雑収入	58,000,000	90,589,719	△ 32,589,719
		施設設備利用料	8,000,000	7,217,744	782,256
		その他の雑収入	50,000,000	83,371,975	△ 33,371,975
		教育活動収入計	794,000,000	827,612,825	△ 33,612,825
		事業活動支出		科目	予算
人件費	357,000,000			346,662,643	10,337,357
教員人件費	220,000,000			218,446,200	1,553,800
職員人件費	130,000,000			122,216,443	7,783,557
役員報酬	7,000,000			6,000,000	1,000,000

出 の 部	教育研究経費	102,680,000	107,448,841	△ 4,768,841
	消耗品費	8,000,000	8,322,876	△ 322,876
	光熱水費	12,000,000	11,801,296	198,704
	旅費交通費	7,000,000	9,770,805	△ 2,770,805
	奨学費	2,000,000	1,100,000	900,000
	車両燃料費	500,000	316,440	183,560
	福利費	3,000,000	3,571,073	△ 571,073
	通信費	2,000,000	1,476,150	523,850
	印刷製本費	400,000	526,529	△ 126,529
	出版物費	1,500,000	1,204,946	295,054
	修繕費	300,000	148,782	151,218
	損害保険料	500,000	944,930	△ 444,930
	賃借料	7,000,000	8,270,941	△ 1,270,941
	公租公課	2,000,000	1,926,100	73,900
	諸会費	150,000	121,112	28,888
	会議費	30,000	24,808	5,192
	報酬委託手数料	8,000,000	8,253,627	△ 253,627
	生徒活動補助金支出	300,000	369,914	△ 69,914
	補助活動事業支出	11,000,000	11,500,102	△ 500,102
	減価償却額	22,000,000	21,496,146	503,854
	教育実習費支出	15,000,000	16,302,264	△ 1,302,264
	管理経費	221,400,000	240,269,081	△ 18,869,081
	消耗品費	10,000,000	9,353,126	646,874
	光熱水費	2,000,000	1,898,550	101,450
	旅費交通費	20,000,000	20,123,554	△ 123,554
	車両燃料費	8,000,000	8,499,122	△ 499,122
	福利費	3,000,000	2,491,976	508,024
	通信費	4,000,000	4,879,743	△ 879,743
	印刷製本費	2,000,000	1,053,584	946,416
	出版物費	300,000	393,399	△ 93,399
	修繕費	5,000,000	27,877,207	△ 22,877,207
	損害保険料	4,000,000	3,584,700	415,300
	賃借料	18,000,000	17,365,613	634,387
	公租公課	1,000,000	815,430	184,570
広報費	24,000,000	24,884,343	△ 884,343	

		諸会費	1,500,000	1,011,782	488,218
		会議費	500,000	35,840	464,160
		渉外費	4,000,000	6,083,572	△ 2,083,572
		報酬委託手数料	50,000,000	48,161,563	1,838,437
		渉外費支出	5,000,000	2,800,000	2,200,000
		補助活動事業支出	7,000,000	6,922,048	77,952
		減価償却額	52,000,000	51,992,127	7,873
		雑費	100,000	41,802	58,198
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	681,080,000	694,380,565	△ 13,300,565
		教育活動収支差額	112,920,000	133,232,260	△ 20,312,260
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	500	660	△ 160
		その他の受取利息・配当金	500	660	△ 160
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	500	660	△ 160
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	18,000,000	18,440,692	△ 440,692
		借入金利息	18,000,000	18,440,692	△ 440,692
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計		18,000,000	18,440,692	△ 440,692	
		教育活動外収支差額	△ 17,999,500	△ 18,440,032	440,532
		経常収支差額	94,920,500	114,792,228	△ 19,871,728
特別収支	事業活動	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0



収入の部				
	特別収入計	0	0	0
事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
	資産処分差額	0	0	0
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	0	0
	特別収支差額	0	0	0
		( 0)		
[予備費]	0		0	
基本金組入前当年度収支差額	94,920,500	114,792,228	△ 19,871,728	
基本金組入額合計	△ 65,000,000	△ 50,953,496	△ 14,046,504	
当年度収支差額	29,920,500	63,838,732	△ 33,918,232	
前年度繰越収支差額	△ 1,938,962,353	△ 1,962,562,339	23,599,986	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 1,909,041,853	△ 1,898,723,607	△ 10,318,246	
(参考)				
事業活動収入計	794,000,500	827,613,485	△ 33,612,985	
事業活動支出計	699,080,000	712,821,257	△ 13,741,257	

### ③ 資金収支計算書の状況

平成 30 (2018) 年度の資金収支計算書は下表のとおり。

資金収支計算書は、当該会計年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入・支出の内容を明らかにし、かつ当該会計年度における支払資金の顛末を明らかにするものである。また、活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書の決算額を三つの活動区分ごとに分け、活動ごとに資金の流れを明らかにするものである。

## 資金収支計算書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

法人名：学校法人 智晴学園

区分名：法人全体

(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	620,000,000	613,673,265	6,326,735
授業料収入	450,000,000	439,564,265	10,435,735
入学金収入	38,000,000	37,350,000	650,000
実験実習料収入	60,000,000	66,370,000	△ 6,370,000
施設設備資金収入	70,000,000	68,289,000	1,711,000
教材費収入	2,000,000	2,100,000	△ 100,000
手数料収入	6,000,000	5,886,000	114,000
入学検定料収入	3,000,000	2,975,000	25,000
試験料収入	2,500,000	2,250,000	250,000
証明手数料収入	500,000	661,000	△ 161,000
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	0	0	0
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	110,000,000	117,463,841	△ 7,463,841
補助活動収入	50,000,000	50,872,428	△ 872,428
附属事業収入	60,000,000	66,591,413	△ 6,591,413
受取利息・配当金収入	500	660	△ 160
その他の受取利息・配当金収入	500	660	△ 160
雑収入	58,000,000	90,589,719	△ 32,589,719
施設設備利用料収入	8,000,000	7,217,744	782,256
その他の雑収入	50,000,000	83,371,975	△ 33,371,975
借入金等収入	100,000,000	106,493,356	△ 6,493,356
長期借入金収入	0	6,493,356	△ 6,493,356
短期借入金収入	100,000,000	100,000,000	0

前受金収入	79,000,000	173,117,900	△ 94,117,900
授業料前受金収入	11,000,000	106,440,000	△ 95,440,000
入学金前受金収入	35,000,000	32,200,000	2,800,000
実験実習料前受金収入	15,000,000	14,806,500	193,500
施設設備資金前受金収入	15,000,000	15,721,400	△ 721,400
教材費前受金収入	1,000,000	1,000,000	0
その他の前受金収入	2,000,000	2,950,000	△ 950,000
その他の収入	263,000,000	198,063,981	64,936,019
前期末未収入金収入	33,000,000	32,452,147	547,853
貸付金回収収入	0	16,899,744	△ 16,899,744
預り金受入収入	90,000,000	88,091,268	1,908,732
仮払金回収収入	40,000,000	40,404,010	△ 404,010
その他の収入	100,000,000	20,216,812	79,783,188
資金収入調整勘定	△ 270,000,000	△ 277,950,015	7,950,015
期末未収入金	△ 60,000,000	△ 65,363,015	5,363,015
前期末前受金	△ 210,000,000	△ 212,587,000	2,587,000
前年度繰越支払資金	17,603,148	17,603,148	
収入の部合計	983,603,648	1,044,941,855	△ 61,338,207
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	357,000,000	346,662,643	10,337,357
教員人件費支出	220,000,000	218,446,200	1,553,800
職員人件費支出	130,000,000	122,216,443	7,783,557
役員報酬支出	7,000,000	6,000,000	1,000,000
教育研究経費支出	80,680,000	85,952,695	△ 5,272,695
消耗品費支出	8,000,000	8,322,876	△ 322,876
光熱水費支出	12,000,000	11,801,296	198,704
旅費交通費支出	7,000,000	9,770,805	△ 2,770,805
奨学費支出	2,000,000	1,100,000	900,000
車両燃料費支出	500,000	316,440	183,560
福利費支出	3,000,000	3,571,073	△ 571,073
通信費支出	2,000,000	1,476,150	523,850

印刷製本費支出	400,000	526,529	△ 126,529
出版物費支出	1,500,000	1,204,946	295,054
修繕費支出	300,000	148,782	151,218
損害保険料支出	200,000	944,930	△ 744,930
賃借料支出	7,000,000	8,270,941	△ 1,270,941
公租公課支出	2,000,000	1,926,100	73,900
諸会費支出	150,000	121,112	28,888
会議費支出	30,000	24,808	5,192
報酬委託手数料支出	8,000,000	8,253,627	△ 253,627
生徒活動補助金支出	300,000	369,914	△ 69,914
補助活動事業支出	11,000,000	11,500,102	△ 500,102
教育実習費支出	15,000,000	16,302,264	△ 1,302,264
管理経費支出	169,400,000	188,276,954	△ 18,876,954
消耗品費支出	10,000,000	9,353,126	646,874
光熱水費支出	2,000,000	1,898,550	101,450
旅費交通費支出	20,000,000	20,123,554	△ 123,554
車両燃料費支出	8,000,000	8,499,122	△ 499,122
福利費支出	3,000,000	2,491,976	508,024
通信費支出	4,000,000	4,879,743	△ 879,743
印刷製本費支出	2,000,000	1,053,584	946,416
出版物費支出	300,000	393,399	△ 93,399
修繕費支出	5,000,000	27,877,207	△ 22,877,207
損害保険料支出	4,000,000	3,584,700	415,300
賃借料支出	18,000,000	17,365,613	634,387
公租公課支出	1,000,000	815,430	184,570
広報費支出	24,000,000	24,884,343	△ 884,343
諸会費支出	1,500,000	1,011,782	488,218
会議費支出	500,000	35,840	464,160
渉外費支出	4,000,000	6,083,572	△ 2,083,572
報酬委託手数料支出	50,000,000	48,161,563	1,838,437
渉外費支出	5,000,000	2,800,000	2,200,000
補助活動事業支出	7,000,000	6,922,048	77,952
雑費支出	100,000	41,802	58,198
借入金等利息支出	18,000,000	18,440,692	△ 440,692
借入金利息支出	18,000,000	18,440,692	△ 440,692

借入金等返済支出	200,000,000	192,397,536	7,602,464
借入金返済支出	200,000,000	192,397,536	7,602,464
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	7,000,000	6,554,588	445,412
教育研究用機器備品支出	1,000,000	370,440	629,560
管理用機器備品支出	1,000,000	355,520	644,480
車両支出	5,000,000	5,828,628	△ 828,628
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	180,000,000	255,598,752	△ 75,598,752
貸付金支払支出	0	39,011,105	△ 39,011,105
前期末未払金支払支出	20,000,000	18,265,751	1,734,249
預り金支払支出	80,000,000	102,328,087	△ 22,328,087
前払金支払支出	0	8,113,356	△ 8,113,356
仮払金支払支出	40,000,000	42,716,278	△ 2,716,278
その他の支出	40,000,000	45,164,175	△ 5,164,175
[予備費]	( 0) 0		0
資金支出調整勘定	50,000,000	△ 54,128,832	104,128,832
期末未払金消費税等	40,000,000	△ 44,533,262	84,533,262
前期末前払金	10,000,000	△ 9,595,570	19,595,570
翌年度繰越支払資金	21,523,648	5,186,827	16,336,821
支出の部合計	983,603,648	1,044,941,855	△ 61,338,207

## 活動区分資金収支計算書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

法人名：学校法人 智晴学園

区分名：法人全体

(単位 円)

		科 目	金 額	
		教育活動による資金収支	収 入	学生生徒等納付金収入
手数料収入	5,886,000			
付随事業収入	117,463,841			
雑収入	90,589,719			
教育活動資金収入計	827,612,825			
支 出	人件費支出		346,662,643	
	教育研究経費支出		85,952,695	
	管理経費支出		188,276,954	
	教育活動資金支出計		620,892,292	
			差引	206,720,533
		調整勘定等	△ 44,630,243	
		教育活動資金収支差額	162,090,290	
施設整備等活動による資金収支		科 目	金 額	
		収 入		
			施設設備等活動資金収入計	0
		支 出	設備関係支出	6,554,588
施設設備等活動資金支出計	6,554,588			
		差引	△ 6,554,588	
		施設整備等活動資金収支差額	△ 6,554,588	
		小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	155,535,702	
その他の収入		科 目	金 額	
		借入金等収入	106,493,356	
		貸付金回収収入	16,899,744	
		預り金受入収入	88,091,268	
		(何)	60,620,822	

の 活 動 に よ る 資 金 収 支	小計	272,105,190	
	受取利息・配当金収入	660	
	その他の活動資金収入計	272,105,850	
	支 出	借入金等返済支出	192,397,536
		貸付金支払支出	39,011,105
		預り金支払支出	102,328,087
		(何)	87,880,453
		小計	421,617,181
		借入金等利息支出	18,440,692
		その他の活動資金支出計	440,057,873
	差引	△ 167,952,023	
	その他の活動資金収支差額	△ 167,952,023	
	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		△ 12,416,321
	前年度繰越支払資金		17,603,148
翌年度繰越支払資金		5,186,827	



学校法人 智晴学園  
専門学校 琉球リハビリテーション学院  
〒904-1201  
沖縄県国頭郡金武町字金武 4348-2  
TEL 098-983-2130  
FAX 098-983-2526